



市商工会青年部とコラボで、CSRセミナーを開催しました

4月11日、「オール菊川で経営しやすい・住みやすい街を！」を目指し、「CSRセミナー㏌きくがわ」を開催しました。

セミナーは市民協働センターと市商工会青年部が協働して企画したもので、地域の発展に関心のある企業、事業者、NPO、行政、学生など約60人が参加しました。

講師にはCSRの専門家として著名なCSRエバンジエリスト泉貴嗣（いずみよしつぐ）氏を招き、企業が会社を強くし、地域、従業員、家族と共に存共栄するためのCSR経営の基本や、NPOや行政が企業と真の協働していくためのヒントなどを学びました。

また、4月18日には「CSR相談会」が開催され、ソーシャルビジネスアドバイサーの川端務夢氏からCSRのポイントや事例紹介など、的確なアドバイスが送られました。



◎菊川市 30-010



？CSRとは 企業の社会的責任。
企業による社会対応力などを指します。

参加者の声

『企業として地域に選ばれるチカラ

を身につけたい』

『企業はCSR活動をPRし、

地域に知つてもらうことも大切だと感じた』

『CSRは非営利セクターでも必要なこと

がわかった』

初夏のランチミーティングのお知らせ♪

キラキラ暖かい日差しでどこかに出かけたくなりませんか？
ランチと明るい会話で、地域の人たちと知り合うきっかけづくりの場を提供します。お気軽にご参加ください♪

6月1日(金) 正午～午後1時 市民協働センター
対象 どなたでも
参加費 500円(お弁当、茶菓子代)

市民活動支援講座
きくがわ未来塾 受講生募集！

菊川のまちづくりのために、何かしたい！
そう考えている方はいらっしゃいませんか？
同じように考える仲間とともに、あなたの思いをプランにし、
実際の活動につなげてみましょう！

日付 | 6/14(木) 7/5(木) 7/26(木) 8/23(木)
全4回講座

講師 | 飯倉 清太氏
(NPO サプライズ代表理事、内閣官房 地域活性化伝道師)

対象 | 高校生から50代くらいまで

時間 | 各回 19時～21時 参加費 | 1000円
(全回通して)

会場 | 市民協働センター(菊川市役所北館1階)

定員 | 20人

氏名、年齢、住所、電話、メールアドレスを記入の上
来館または電話・メール・Faxで申込みください。

申込み&
問い合わせ

菊川市市民協働センター
電話 / 0537-35-2220
メール / kikucen1@sage.ocn.ne.jp



6月のイベント・講座スケジュール



1 金	初夏のランチミーティング 市民協働センター 12:00~13:00 参加料: 500円(軽食・おやつ代)	主 市民協働センター 申 0537-35-2220
3 日	きくがわディープツアー ~昭和ノスタルジーを体験するまち歩き~ 菊川駅周辺 / 市民協働センター前集合 14:00~18:00 参加費: 3000円(食事代含む)	主 菊川ブランド化プロジェクト 申 090-9911-3429(藤原)
7 木	きくがわ未来塾 2018 経過報告会&交流会 市民協働センター 19:00~20:30 参加費: 300円	主 市民協働センター 申 0537-35-2220
9 土	森づくり大作戦「あじさい植栽」*雨天時:翌日開催 沢田の庄裏山 / 市民協働センター前集合 9:00~11:00 参加費: 無料	主 NPO法人里山再生クラブ 申 090-3301-9416(堀)
10 日	フェスタジュニーナ ~日本とブラジルの交流イベント~ おがせセントラルパーク 10:00~16:00 入場料: 無料	主 NPO法人ソヒヅ・デ・クリアンサ日伯交流協会 問 090-2576-6305
10 日	海を渡った菊川茶 パート2 講演会 菊川赤レンガ倉庫 13:30~15:00 入場料: 無料	主 NPO法人菊川まちいき 問 090-1099-6540(大橋)
14 木	ゆかいな行政書士「滝井浩平」のNPO相談会 市民協働センター 14:00~17:00 相談料: 無料(要予約)	主 市民協働センター 申 0537-35-2220
23 土	ファミリーフェスタ(男女共同参画フェア) 中央公民館など 13:30~16:00 入場料: 無料	主 菊川市地域支援課 申 0537-35-0925
7/1 日	NPOのための資金調達セミナー&助成金説明会 市民協働センター 10:00~12:00 参加費: 無料	主 市民協働センター 申 0537-35-2220

参加者募集中! 詳しくはきくせんホームページ (kikucen.net) ▷ イベントをご覧ください

団体紹介

◆NPO法人しづおか



NPO法人しづおかは人と人が共に生き、みんなが生き生きと生活できるよう、不登校・発達障がい等の児童・生徒の成長を支え、憩いと学びの場を提供する支援を行っています。5月9日からは菊川市役所の食堂を運営するなど「障がいのある人の働く」をサポートする「障がい者100人サポートプロジェクト」を実施。誰もが住み慣れた地域でその人らしく生活できるような就労支援を行っています。

レポート

◆ドットツリープロジェクト視察



伊豆市にある移住促進拠点「ドットツリー修善寺」に視察に行ってきました。ドットツリーは人口減少が進む中、移住定住のために「住む」と「働く」をセットにした「ソーシャルアパートメント」です。NPOサプライズ代表理事の飯倉清太さんからは、地域活性化は市民活動に加えビジネスでも、地域の人との関係性が良くなり、そこに住むことが自慢になることがポイントだと教えていただきました。